2013 年 10 月 1 日発行

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報誌

NO. 39
秋号
平成 25 年
(2013)

環境ひらかた

Hirakata Kankyou Network Kaigi
ひら環ネット

バスのって！スタンプラリー

路線バスで巡る 枚方・交野の魅力スポット

意外に便利な路線バス!!この機会に 公共交通を見直してみませんか？

第 16 回“バス！のってスタンプラリー”を 10 月 19 日（土）に開催します。
ひらかた環境ネットワーク会議では、温暖化対策事業に取り組んでいますが、「バスのって！スタンプラリー」は、公共交通が環境にやさしく便利なものであることを知っていただきたいと、春と秋の年２回行っています。
電車・バスを使うと、ふだん何気なく見ている景色がまた違って見えるかもしれません。

まだ参加されたことがない方、ぜひこの機会に枚方、交野の魅力と、バスの良さを体感しに出かけてみてはいかがでしょうか。

この秋、たくさんの発見があなたを待っています。ご家族・ご友人と参加してみませんか。

10月19日（日）枚方市岡東公園からスタート

「バスとまち」のお話を聞いてから枚方各所をめぐり、スタンプポイントにある文字を集めて言葉を作り、ゴール地点へ！

写真は昨年の様子

京阪バス「1dayチケット」を使うとお得で便利です！

枚方・交野のスポット再発見！

★せせらぎ水路
緑道全体を天の川に見立てた魅力的な遊歩道
「枚方市駅」下車すぐ 枚方市役所前

★香里団地の並木
大通りのケヤキ並木、イチョウ並木は圧巻！
「藤田川」下車

（2面に続く）

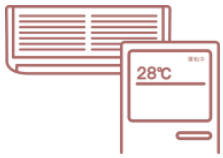
＊＊＊＊＊目　次＊＊＊＊＊

バスのって！スタンプラリー	P１
2013　夏の節電コンテスト受付中	P２・３
部会紹介	P４・５
お知らせ	P６
環境トピックス　VOL.５	P７
それゆけ！エコ企業「竹取物語の会」	P８

2013年 ひらかた夏の節電コンテスト

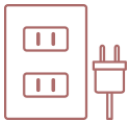
応募準備は

受付が始まっています！



「頑張った甲斐があって減った！」という方、

「頑張ったけれど増えていた！」という方もぜひ!!



10月31日まで受付しています

ひらかた環境ネットワーク会議では、昨年に続き今年も枚方市との共催で、「ひらかた夏の節電コンテスト」を実施しました。今年は削減についての数値目標は示されませんでしたが、厳しい電力供給状況であることに変わりなく、広く節電の取り組みを呼びかけました。

とは言うものの、今夏の厳しい暑さの中“節電”にとりくむには非常に厳しい状況だったと思います。しかし、新聞等で報じられているように、昨年の節電を経験したわたしたちには、節電意識・行動が定着してきている傾向にあり、平均で7%の削減が出来たとのことです。節電を心がけることで、温暖化の事、原発とエネルギー問題など、多くの気付きがあったのではないかと思います。その気付きも応募用紙に書いて出して下さい。素敵なプレゼントが待っています！！

枚方・交野のスポット再発見!

★百済寺跡の松風
8世紀終わり百済王敬福が氏寺として建てた百済寺跡
「宮之阪」下車すぐ

★天津橋
橋中央部、両サイドに彦星織姫のレリーフ。夜にイルミネーションが点灯
「枚方市駅」徒歩5分

★観音山公園
園内には七夕伝説の牽牛にたとえられる巨石がある
「香里ヶ丘三丁目」徒歩5分

魅了あるスポットがたくさん！「**枚方・交野めぐり～電車・バスで行こうよ！マップ**」を片手に楽しみましょう♪

チャレンジされた方お済ですか

※応募用紙は、事務局、市内公共施設等にも置いてあります。

6月～8月の電気使用量が昨年と同様、もしくは削減できた方には全員、出来なかった方には抽選で

京阪バス「1dayチケット」プレゼント※先着300名

電気使用量のお知らせを応募用紙に貼って提出してください。(詳細は同封のチラシをご覧ください)

「1day チケット」をゲットして、“バスのって！スタンプラリー”に参加すると、枚方の秋も満喫できますよ♪

インターン生当団体で研修

今年は、龍谷大学、関西外国語大学生４名が、当団体でインターン実習を行いました。「自然エネルギー学校」「くらわんか塾」を体験しての感想です。

※インターンシップ（就業体験）とは、一定期間企業で実際に働き、自分の適性を見極め進路決定に役立てる制度です

自然エネルギー学校に参加して

時々子どもたちの楽しそうな声が聞こえてくる…。隣で「自然エネルギー学校」が開催されているのだ。作業の手を止めて耳を澄ませると、初めに子どもたちに向け、何か問いかけをしていた。すかさず答える子どもたち…。こういう風に子どもたちの関心を引きよせていくのかと感心しました。“楽しそうだな”“自分たちも参加してみたいな”という思いが自然と湧き上がってくるのを感じ、現代の子どもたちは、このような機会を通して環境について学び、考える場が必要である事を認識させられました。

関西外国語大学　石黒　吉本

くらわんか塾に参加して

今回インターシップの実習の一環としてくらわんか塾に参加しました。参加すると言っても何をするんだろうという感じで不安でいっぱいでしたが、そもそも「環境って何？」という素朴な疑問からスタートしたので、すんなりとくらわんか塾を受講する事ができました。完璧に理解したわけではないですが、環境を学ぶ、考える上で良いきっかけになりました。受講したここをスタート地点として、自分でどう考え、どう行動するかが大事だと思いました。

龍谷大学　岡村　西岡

＊＊＊ひらかたエコチェックＤＡＹ＊＊＊

2009 年に始まった「ひらかたエコチェック DAY」は第 5 回目となり今年で最後になります。過去 4 回の参加者の合計は 35,647 名です。この沢山の参加者や、参加はしなかったけれど、エコチェックシートを手にした多くの方々にとって、「ひらかたエコチェック DAY」は“エコチェックシートにあるような日常行動を「意識する」「ちょっと気を付ける」ことが温暖化対策につながる”事に気付く、あるいは確信する事のできた取り組みだったのではないでしょうか。

◆お知らせ◆

ひらかたエコチェック DAY は、今年最後です。
ぜひたくさんのご参加を!!

※来年からは、環境家計簿「我が家のエコノート」の取り組みがスタートします。モニター募集中です！

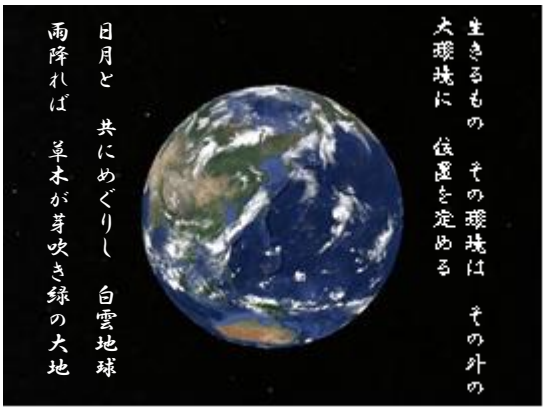
部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育サポート部会

地球環境と身近なこととのつながりを理解してもらうには

前号の会報誌で、環境教育サポート部会が行っている出前事業について紹介しました。今回はその続編として、出前授業に於いて、一番心を砕いている事について触れてみたいと思います。『“環境”とは、“わたしたちのまわりのすべてもの”のことです。』と、平成 25 年度版枚方市環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の表紙裏面に記載されていますが、子どもたちにとって“わたしたちのまわりのすべてもの”といっても、身の周りといういわば小さな部分と、地球環境という大きなものとの結びつきを理解できるのかという問題があります。そこで、その結びつきを、実感・体験させ、将来的に「環境に配慮した考え方や行動のできる人」として育ってもらうためには、どのような「お手伝い」をすればいいのか。この事に一番心を砕いているのです。その教材として右の詩の用も考えているのですが…いかがでしょう。



公共交通部会

今！どうなってるの？レンタサイクル事業

平成 19 年、公共交通部会で、レンタサイクル事業を実験的に実施しました。場所は市営牧野東自転車駐車場を拠点とし、土木総務課、ごみ減量推進課、交通対策課と連携・協力し取り組みました。

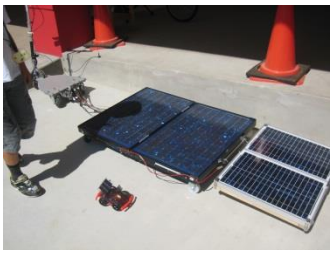
温暖化が問題となっている中“マイカーから自転車へ”の想いで、レンタサイクルを実験的に実施し、京阪各駅に、レンタサイクルの拠点が出来ればとの期待もあったのですが、状況は厳しく、本格展開には至りませんでした。

現在は市営牧野東自転車駐車場で平成 21 年から枚方市、枚方エコサイクルと当法人の協力で、枚方市シルバー人材センターが運営を担って下さっています。本格展開に至らなかったことについて「なぜ？」という疑問が残るかと思いますが、それはまたの機会に。皆さんもお時間があればなぜだったのか考えてみて下さい。

自然エネルギー部会

ソーラーカーを作って自然エネルギーを体験

8月20日、ひらかた自然エネルギー学校2013第2回セミナー「親子で自然エネルギー」を、去年に引き続きに環境教育サポート部会の協力のもと開催しました。大人・子供合わせて25名の参加があり、子ども達はエネルギーの話を聞いたあと、おもちゃのソーラーカーのキットを組み立て、明るい廊下や屋外で走らせ「自然エネルギー」を体感しました。またソーラースクーターやソーラー噴水などを通して「自然エネルギー」の体験もしてもらいました。又その間、大人たちはドイツのシェーナウ市の住民グループがチェルノブイリ原発事故をきっかけに“自然エネルギー社会を子供たちに”と、市民の手で電力供給会社を誕生させる、というドキュメンタリー映画「シェーナウの想い」を鑑賞しました。感想として、子どもたちからは『みんなで協力して作れてよかったし、ちゃんと走るか、すごく心配だったけれど、走って嬉しかった』の声が、また大人の方からは、『こういうことを考えることもなかったので、とても良い機会になったと思う』との声を頂き、自然エネルギーへ関心を持ち、理解を深めていただく場として自然エネルギー学校を続けていく励みになりました。



まちづくり部会

へぇ～そうだったのか“まちづくり部会”

このほど枚方市は(仮称)枚方市市民参画まちづくり条例案を策定しました。私たちの部会の名称も「まちづくり」部会です。それでは、まちづくりっていったい何なのでしょう。あまりにも間口が広く、「漠然としていてよくわからないけれど、何となくわかった」気になっているというのが現状ではないでしょうか。

ところで、ひらかた環境ネットワーク会議は、枚方市の環境基本計画の施策を推進するという事を目的の一つとしていることは知られている通りです。しかし、まちづくり部会が環境基本計画にある基本目標「環境に配慮された快適な都市空間が確保されたまち」に謳われている基本施策「美しいまち並みの確保」としての1、環境美化の推進　2、良好な景観形成の推進　3、歴史文化遺産の保存と活用　といった条項に沿って事業を展開している事は余り知られていないと思います。この機会に具体的にどんな事をしているか目を向けて頂ければと思います。

お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。　☎072-847-2286

ひらかた自然エネルギー学校　2013　　連続５回セミナー開講

第4回　10 月　6 日（日）　「青山高原の風力発電見学と講演」

8:30～18:00　　～三重県青山高原の風力発電見学と講演会の特別バスツアー～

第5回　11 月　9 日（土）　「枚方市内自然エネルギー活用スポット見学」

9:00～16:00　　～枚方市内にある自然エネルギー活用スポット特別バス見学ツアー～

エコドライブ・シミュレーター体験できます

CO_2の排出とガソリン消費を少しでも少なくする為には省エネ運手が不可欠です。

情報コーナーでは、エコドライブ・シミュレーターを使って、エコドライブが体験できます。

ぜひ、省エネ運転診断を受けてみませんか？

場所：サプリ村野南館２階　環境情報コーナー

月～金曜日　10:00～16:00　　※無料

◆◆◆エコキャップ・プルタブの回収報告◆◆◆

●エコキャップ　４・５・６月郵送分

68,542 個

累計　516,422 個

CO2 累計　3,912.0 kg

ポリオワクチン　620.9 人

お手伝いいただきました大勢の皆様、ご協力ありがとうございました。

※エコキャップは、ポリオワクチンの購入資金として寄付されます。

緑のカーテン報告

この夏、環境ネットワーク会議では、情報コーナーの取り組みで、緑のカーテンづくりにチャレンジしました。サプリ村野の利用者や、近隣の方など６名の方が「ゴーヤのオーナー」として、緑のカーテンづくりにご協力下さいました。残念ながら、２階事務所の窓を覆うほどの“緑のカーテン”にはならなかったものの３６本のゴーヤの収穫がありました。事務所の夏休みの期間、毎日水やりに来て下さったＭ氏には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

環境トピックス Vol.5

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。
今回のテーマは、「雨量の偏りは環境問題のひとつ」、「多発する竜巻現象」、「特別警報」です。

◆ 雨量の偏りは環境問題の一つ

今年の夏は猛暑日が続き、記録的な豪雨や局地的な「ゲリラ豪雨」が日本中を襲いました。７月下旬以降の豪雨は、北海道や東北、関東、北陸、中国地方など多くの地域で発生しました。気象庁からは、これまでに経験のない大雨に、ただちに命を守る行動をとるように警戒を呼びかける“特別警報”が発令されるなど、特に、西日本では、観測史上例のない異常な豪雨が発生しています。これらの現象は、太平洋高気圧が西に張り出し、海面水温が高く、上空を流れる偏西風が蛇行しているため、南から暖かく湿った空気が次々と日本列島に流れ込んでくるのが原因だといわれています。しかし、異常気象は日本だけではありません。地球温暖化が進むと、海面温度は上昇し、大量の水蒸気が発生するとともに、海流は変化し、気圧の配置に多大な影響を与えます。異常気象が起こる背景にはこうした地球温暖化による影響があるのは明らかと言えるでしょう。

◆ 多発する竜巻現象と竜巻注意情報

この夏は、各地で竜巻、あるいは竜巻に似た突風が多発しました。
竜巻発生のメカニズムは、空気が暖められた事によって出来た水蒸気が雲になり、その雲が積乱雲に急速に発達する事が大きな原因だということはよく知られているのですが、実は詳細についてはあまり解明されていません。従って、竜巻注意報も、竜巻やダウンバーストなどの激しい突風が発生しやすい気象状況となり、発生の可能性がある段階で発令されるので、比較的広い範囲を対象に発令されるのです。しかし、激しい突風をもたらす竜巻などの現象は、発現時間が短く、発現場所も極めて狭い範囲に限られるため、竜巻注意情報が発表された地域でも必ず竜巻などの突風に遭遇するとは限らないのです。ちなみに、注意報の有効期間は発令から１時間です。
ところで、近年の竜巻注意報の発令件数をみると、増加傾向にあります。これは地球温暖化と大きな関係があると言えます。こんなところにも温暖化の問題は大きな影響をもたらしているのです。

◆ 進化する鉄道エコ技術

移動手段として鉄道は、地球温暖化の一因であるCO_2の排出の面で、自動車や、飛行機などに比べ、環境に優しい乗り物です。その鉄道分野で、研究開発や新しい技術を取り入れる試みなど、環境面での進化に向けた取り組みが進められています。
例えば、燃料電池と蓄電池のハイブリッド車の開発や、電車がブレーキをかけた時に生まれる「回生電力」の有効活用、更に日々の改札口を通った乗客数の推移を元に予想された乗客数に合わせて運行計画を組み立てる「デマンド輸送計画」等の研究も進められているのです。

それゆけエコ企業!!

地球温暖化防止に積極的に取り組んでおられる元気な事業者や団体さんを紹介するコーナーです。今回は穂谷を活動拠点とする「NPO法人 森林ボランティア 竹取物語の会」さんです！

里山の保全・整備を通じて社会に貢献

森林ボランティア竹取物語の会は 2002 年に発足し、2006 年にＮＰＯ法人の認証をうけ 62 名の会員と共に枚方市野外活動センターを拠点に、その周辺民有地と穂谷の個人所有の果樹園をフィールドとして、ヒノキと孟宗竹の間伐、下草刈り、植林など、雑木林の整備等を行い、里山保全・維持活動に取り組んでおられます。スタート時は“整備された”とは程遠い状況で、孟宗竹は皆伐の作業だったそうです。しかし、頑張りが実り、ここ数年は間伐作業を行うことで状態が維持できているという事です。又これらフィールド活動と併せて、市民対象の竹和紙漉きや藁草履作りといった体験活動や、里山保全活動の理解と活動参加を目的とした「里山保全講座」などにも取り組んでおられます。

これらハードな活動を支えているのが、すもも、クリ、柿の収穫や、茶摘み、山の恵みいっぱいの豚汁大会などの“お楽しみ活動”だと感じました。「収穫時の会員の顔は満面の笑み」という言葉をお聞きし、環境活動は重要なことではあるけれど、「重要」という事の義務感と理念だけではボランティアは続かない、やはり楽しみながらというのが継続の鍵だと感じさせられました。

NPO 法人 森林ボランティア 竹取物語の会
活動場所 枚方市野外活動センター内等
活 動 日 毎週日曜日･水曜日(第 5 日曜日休み)
活動時間 10 時～午後 3 時
HP http://www.eonet.ne.jp/~taketorinokai/
連絡先 市山 二郎 TEL:072-848-1932

ひとこと

今回私たちは、インターンシップの研修における企画書作成の一環で、会報誌の作成に携わらせて頂きました。“トキメク会報誌”をテーマに、幅広い年齢層の方の心に響くような会報誌づくりに取り組みました。どう工夫すれば読み手の関心を惹きつけられるのか、デザインや言葉など 4 人で意見を出し合い、いろんな方のアドバイスを受け試行錯誤を繰り返して作りあげていく作業は、想像以上に困難でしたが、私たちの案が採用された部分もあり、充実感も得る事が出来ました。インターンシップを通して得られた多くの経験を、今後の学生生活や将来に活かしていきたいと思います。

（龍谷大学）岡村、西岡（関西外国語大学）石黒、吉本

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第39号

平成 25 年 10 月 1 日発行（年 4 回発行）
発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町５番１号
サプリ村野内（旧村野小学校）
電話 072-847-2286
FAX 072-807-7873
Ｅメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net
ホームページ http://www.hirakata-kannkyou.net
発行責任者：伊丹 均 編集責任者：丸井 晶子